

## 名古屋第二赤十字病院で診療を受けられる患者さんへ

### ～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	心臓 Dynamic シンチによる微小循環障害の評価		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2022 年 3 月 まで		
研究実施診療科	循環器内科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	(西暦) 2020 年 11 月 9 日	
	院長が研究実施を許可した日	(西暦) 2020 年 11 月 10 日	
対象となる方	対象期間内に名古屋第二赤十字病院にて Dynamic シンチ検査を受けた方。		
対象期間	(西暦) 2014 年 5 月 ～ (西暦) 2022 年 3 月		
研究責任者	所属	循環器内科	氏名 海野 一雅
研究の意義	本研究は、当院で通常行っている核医学検査のデータを利用して心不全患者さんの重症度評価や予後予測ができないかを検討するものです。高齢者に多い左心室機能が保たれているにもかかわらず発症する心不全 (HFpEF) は未だ有効な治療法が無く、その病態は完全に明らかになっておりません。HFpEF の原因の一つか心臓微小循環障害といわれていますが、これを非侵襲的に評価する方法は特殊で一般病院では困難です。そこで、当院が導入している半導体 SPECT 装置を用いて心臓微小循環障害を検出・定量できないか検討するのが今回の研究です。もし有用性が確認できれば、重症化する可能性のある患者さんを早期に検出できたり、治療の効果を判定できたりと臨床的に大きな意義があると考えております。		
研究の目的	左室収縮能正常心不全 (HFpEF) の微小循環障害を Dynamic シンチ法を用いて評価できるか検討します。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、体重、性別等の基本情報、Dynamic シンチ検査の情報、入院日数等)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直		

	ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	名古屋第二赤十字病院 循環器科 海野 一雅 電話 052-832-1121 (代表)